

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度 第2回長岡市スポーツ推進審議会
2 開催日時	令和5年3月20日（月）14：00～16：00
3 開催場所	さいわいプラザ4階 教育委員会会議室
4 出席者名	委員：10名 市村輝男委員長、田中義昭副委員長、猪又悦子委員、岩本久美子委員、青木千恵子委員、佐藤研一郎委員（リモートでの参加）田村万里子委員、野口富枝委員、三上徹人委員、石坂陽之介委員 長岡市スポーツ協会（オブザーバー）：1名 遠藤専務理事兼事務局長 長岡市：8名 伊藤市民協働推進部長、中山スポーツ振興課長、山本課長補佐、石川総括副主幹、田村係長、今井係長、坂井主任、豊田職員 補助説明者：2名 相澤慶明、志村龍彦（株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所東北支社）
5 欠席者名	2名（中村真衣委員、淡路弘幸委員）
6 議題	1 長岡市スポーツ推進計画の中間見直しについて 2 新しいスポーツ活動の取組みについて 3 長岡市スポーツ施設整備基本構想の見直しについて
7 審議結果の概要	議題1、2及び3について、審議及び協議の結果、承認した。

8 審議の内容	
委員長	これより議題の審議を行います。
(議題)	(1)長岡市スポーツ推進計画の中間見直しについて(事務局説明)
委員長	説明について、質問や意見はないか。
〇〇委員	<p>ジュニアスポーツというのは何歳からなのかわからない。</p> <p>今、ヒップホップを総合型でやっているが、とても人気があって、教室を増やすような状況。私としては正直なところ、ただ単に踊っているだけなのがスポーツになるのかなという感覚だった。ただ、幼稚園児と小学生と一緒に運動しているので、園児が小学校に上がってもお兄さんお姉さんがいるという非常に良い連動性がある。それが総合型の特徴の一つだとも感じている。</p> <p>これから新しいスポーツという形態が出てくる中で、指導者の資格制度、例えばテニスの場合だと、スポーツ協会などで研修会を開いて、お金を払って資格を取ると思うんですが、そういう資格制度というのは確立しているのか。</p>
事務局	いわゆるジュニアスポーツの育成の資格でしょうか。
〇〇委員	そうです。
事務局	<p>中間見直しにも掲載している「支える」スポーツの推進の中で、日本スポーツ協会公認スポーツリーダー資格を目標にあげている。これは見直しの中にも引き続き入れようと思っているが、今、〇〇委員も言われたように、必ずしも資格の取得だけが指導者の要件になっているとは考えていない。今後の中学校部活動の地域移行も含めて、長岡市でこういった形で地域の受け皿としての指導者の確保を図ることができるのか、長岡市独自の指導者としての位置付けを含めてしっかりと考えていきたい。目標としては、前調査からの繋がりもあるので、一応、日本スポーツ協会の公認スポーツリーダーの資格という形で数値を上げさせていただいている。</p>

<p>〇〇委員</p>	<p>ダンスと言っても全国にはいろんな種類があり、それぞれで指導者の育成を行う仕組みがある。私も一度講習を受けたが、フォークダンスといった一般的なダンスの指導者資格は簡単に取ることができる。</p> <p>〇〇委員がおっしゃったように、地域総合型で世代にとらわれることなく、子供と母親と一緒に運動するというのはすごくいい。小学校中学校では競技スポーツしかほとんど授業ではないので、知っているスポーツと言えば競技スポーツしかなくなってしまふ。</p> <p>レクリエーションの中で、例えばセパタクローやダブルダッチロープなど、器械体操と通じる運動競技性のあるものがありますが、体験したことがないからわからないというのが現状だと思う。ただし、協議の指導者や審判員になるには資格が必須です。</p> <p>アーバンスポーツなどをどういう仕掛けを取り入れたら人が集まるかという問題は、総合的な考え方で進めていくと世代の幅が広がっていくのではないかと思う。</p> <p>長岡市からオリンピック選手を育てたいと思うのであれば、幼少期から競技をやらせるのではなく、底辺を広げて、そこからトップアスリートをすくい上げて行く形になればとても良いと思う。</p>
<p>副委員長</p>	<p>いざ資格を取ってくださいとなった時に、時間も費用もかかるのが現実であって、行政からの働きかけを感じない限り、仕事を持っている人たちがそこまでの意気込みでやるかという課題があると思う。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>自分のキャリアアップのために、働きながら勉強し直して資格を取る人もいるので、資格取得のための補助制度なども考えて行く必要がある。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>サッカーでC級、D級ライセンスがありますが、なかなか働きながら取得するというのは難しいところがある。先ほど課長がおっしゃった長岡市独自の資格制度というのは、是非やっていただきたいと個人的には思う。</p> <p>資格取得だけが指導者の要件ではないが、指導者には子どもの豊かな成長に必要な知識やサポートを行う素養も求められ</p>

<p>〇〇委員</p>	<p>る。無資格では不安な面もあるので、長岡市独自の認定制度はぜひ創設してもらいたい。</p> <p>保育園など現場での悩みは、昔は親子で遊ぶことが多かったため、鉄棒やいろんな運動が問題なく出来ていたが、今は経験不足で運動が苦手な子が多い。水泳は教室に通っているために得意な子が多かったりするが、鉄棒・マット・跳び箱など、昔の子供達が得意だったことが今の子供達は苦手感が出てきているんじゃないかと現場では声が上がっている。</p> <p>親子で遊ぶきっかけや機会を作ってもらいたい。赤ちゃんのうちから体を動かすことが好きな子供が決まってくると思うので、そういった子供を現場では育てたいと思う。家庭とも連携しながらやっているところもあるが、地域で親子と楽しめるものがあればいいなと思う。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>本当にすばらしい指導者は結構います。子供達に乱暴な言葉を使わない。その人の特質だと思うが、子供に慕われる。そういう人がいると10人が急に20人、30人と増えてすごい組織になる。立派な指導者がいっぱいいるから、いい方法で発掘して、新しいスポーツ形態につなげられればと期待している。</p>
<p>委員長</p>	<p>スポーツ推進計画中間見直しなのですが、「あつまり、ともにつながる」という、ここの部分が重要なのかなと思う。</p> <p>今のアーバンスポーツもそうだが、まず初めにあるのは場所の問題。推進計画の次の新しいスポーツ活動の取組みや施設整備基本構想にも密接に絡んでくる問題なのかなと思う。防災公園にバスケットボールのハーフコートあるが、高校生から小さい子供までが集まって、遊びがイコールになると本当に飽きることなくやっている。ダンスの話も出ましたが、よさこいとかが長岡まつりの民謡流しとか、ああいうものも広い意味ではスポーツという捉え方が出来るのかな。</p> <p>競技スポーツではなくスポーツ文化をどう育てていったらいいのか、これは今審議にかかっているわけですので、その辺を加味してもう少し皆さん頭をひねっていただくということで、皆さんよろしいでしょうか。</p> <p>(反対意見なし)</p>

	<p>はい、ありがとうございました。異議なしと認め、説明のとおり承認する。</p>
(議題)	<p>(2)新しいスポーツ活動の取組みについて説明をお願いいたします(事務局説明)</p>
委員長	<p>先ほどのご意見も参考にしながら、これについてご意見等ございましたらお願いします。</p> <p>推進計画の中間見直しに入れるにしても、とりあえずeスポーツについては今後ミライエができる中で、計画に何をどう押し込んで、ボリュームを持たせていくか、これはいろいろな組織と協力しないとなかなかできない。</p>
事務局	<p>市民アンケートの補足説明(事務局説明)</p>
委員長	<p>今の説明だと、eスポーツという言葉は知っているけれども、やっている人は少ない。だから、アオーレやミライエ、コミュニティセンターなどでもできるようにして欲しいという思いが結果に出たのだと思う。それを踏まえた中で、皆さん、eスポーツについてどうお思いでしょうか。</p>
副委員長	<p>なかなか私どもの年齢になると、eスポーツがスポーツかと言われれば、〇〇委員がおっしゃられたように、これがスポーツなのかという感覚は正直ありますが、しかし、eスポーツもスポーツなんだと捉えて、頭を切り替えて取り組んでいかないと、全くもって時代に乗り遅れるというような気が私自身している。障害の有無や性別・年齢に関係なく、同じ土俵に立ってプレイできるということが一番いいところなのかなという気がする。トップを目指して世界的に有名になる人もいるかもしれないし、仲間同士で集まって活動が続けていくというのもありだし、幅広いニーズに答えていけそうなのがeスポーツだなと個人的には思う。</p>
〇〇委員	<p>eスポーツはテレビで見たくらいしか分からない。高齢者は太鼓の達人やぷよぷよなど、誰でもできそうな簡単なものがある反面、難しいものもある。簡単に出来るものを対象にして、皆さんに広げていったらいいのかなと思う。</p>

<p>委員長</p>	<p>地域の普及員の皆さんに聞いてみたところ、やってるとい 人は一人だけでした。これからどのように広げていくのかとい うのも課題になってくるのかなと思う。</p> <p>e スポーツがオリンピック種目になるということなんです が、長岡のスポーツ競技団体もスポーツ協会も、とてもじゃな いが面倒を見れるところはない。基本のスポーツの概念から外 れている部分がどうしてもあるのかな。結局、所管してやっ ていくのはスポーツ振興係さんということになるんだろうけれ ども。</p>
<p>事務局</p>	<p>長岡市としては、体験の場を設けて行き、市民の反応を見極 めた上で、展開方法を検討して行きたいと考えている。</p> <p>国では、対戦形式をとることによって、精神的な面での充足 感や満足感を得られる点において、身体的スポーツもeスポ ーツも同じであり、広くスポーツとして捉えることができるとし ている。性別や年齢、障害の有無に関係なく対戦できるeスポ ーツも広くスポーツだと捉えていただくという感じです。</p> <p>私ども長岡市も、アーバンスポーツを含めた新たなスポ ーツの動きをどのようにして取り入れて行くかについては、私とし ては、地域といった身近な場所で、誰もが楽しめる機会を作 って行くことが、従来のスポーツ競技団体、とりわけ競技性の高 いスポーツにとっても一番大事なところだなど思っている。</p> <p>ただ実際に、長岡市全体で体験会を広げていったときに、果 たしてどういう風に地域の受け止め方があって広がっていく のか、あるいは、どういった動きになるのかは、しっかりと見 極めながらやっていかなければいけないと思っている。ゴール までの道筋が定まっていて、こういう風に展開していこうとい う段階までには至っておりませんが、新しい取り組みとしては 進めていきたいなと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>取り組んだとしても、そう爆発的に人口が増えるとは思えま せんが。果たして、スポーツ推進審議会の中でeスポーツを審 議するのってどうなのかな。今の事務局の意見や回答を含めた 中で、皆さんご意見はありますか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>その中の一つにある認知症予防という項目は、私くらいの年</p>

	<p>になると非常に興味がある。総合型のモチベーションに一致する面も結構ある。体を動かさなくても、頭の運動というか、自分1人でやると何だか根暗みみたいな感じがするが、こういう大らかな環境の中でやれば、ちょっと血が騒ぐような雰囲気を作り出すことができるかもという期待感はある。さっき言ったように、ヒップホップも最初はなんだと思っていたが、何か良い方向に行きそうな雰囲気があるなという気がする。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。他にございませんか。</p>
〇〇委員	<p>これからどんどん技術が発達していったって、自分の脳と機械がバーチャルで連動するような商品自体が出てきた時に、時代の流れに置いていかれないようにするためにも、そういう道筋は必要になるかもしれない。</p>
委員長	<p>ネットの中でも対戦できるということですか。</p>
〇〇委員	<p>そうです。ちょっと話が逸れて申し訳なんですけど、症的には寝たきりの方でも、チームを作ってどこかのチームと対戦できるということも考えられる。</p>
委員長	<p>そういう話になれば、我々が審議するのではなくて、社会福祉の方で審議する話になるのでは。</p>
事務局	<p>市の方でも健康課で多世代健康づくり事業を推進しておりますが、地域全体への人工的なイベントということで、地域振興戦略部とも業務の取組みを進めたいと考えています。</p> <p>また、地域交流という基盤の中で、どのように連携しながらやっていくかについては、例えば太鼓の達人の話がありましたが、実際、そういった取組みは既に北海道ではやっているところがあります。例えば、太鼓の達人のルールが良くわからない高齢者の方でも、子供達と交流しながら対戦をしたりしています。そういった取組みが結果として放課後の見守り確認につながったり、いろんな可能性が一つのツールとしてはあるので、どこまでをスポーツの範囲でやっていくかという議論はありますが、スポーツの分野でも必要性をしっかりと確認していく必要があると思う。</p>

<p>委員長</p>	<p>できれば、身体的な活動とかレクリエーションとかをミックスして、このeスポーツを取り入れていければ、また可能性が広がったりすることもあるのかなと考えている。</p> <p>積極的ではないけれど、触れない訳にはいかない。推進計画の中にも健康等々という部分もあるわけですから、取り合えず様子を見ながら、消極的取組ということなのかな。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>eスポーツは、これまでのスポーツと結構様相が違うのはその通りだと思う。アンケート結果から私が感じたことは、eスポーツというものをよく理解している人が市民の中でもほとんどいないということ。身体活動を伴う既存のスポーツと同じようにeスポーツもしていけないといけないというのは、場所の確保などからしてもなかなか難しい面があると思う。</p> <p>一方で、既にeスポーツが盛り上がっている所があったり、国の施策として取り上げられていたりしている。今、〇〇さんがおっしゃったように、eスポーツの得意な部分である認知症予防とか、賑わいに使えるのではないかと思う。私は長岡青年会議所にも所属しているのですが、先日の雪しか祭りで、eスポーツを運営するNNさんという団体と一緒にやる機会があった。当日は大雨でしたが、5~600人くらいの親子を中心に盛り上がっていた。やはりそういった賑わいを作るとか、eスポーツが得意なところを、まずやっていくというところでのいいのかなと感じた。</p>
<p>委員長</p>	<p>施策の中にeスポーツを盛り込んで、民に任せて、イベントがある時には後援するよという形になるだろう。アーバンスポーツとかスポレク大会とか、こういうようなところに先程のダンスの話とかをどんどん入れて、なるべく広げて充実させていった方がむしろいいのかなという感じがしました。</p> <p>やはりそういった活動の場がないと、なかなか実態を掌握できない。表立った活動の場に出てくれば、ああいう子供達がやっているのかとか、ああいう団体がやっているのかといったことがわかるわけで、いろんな繋がりが出てくる。</p> <p>他ございませんでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>もう一点だけいいですか。</p>

	<p>計画の中間見直しなので、項目自身を見直すということとはなかなかできないですが、その中で皆様方からご意見いただきたい部分は、基本的にはあまりスポーツに関心がない人でも、これからスポーツをやってみようという気持ちにさせるような取組みが、スポーツ振興の一番の意義であると思っている。するスポーツの中でも、少しでも何か関わってやってみたい、してみたいと思わせることに手を打っていくことが一番大事だと思っておりますし、そのためには、どのようにしたらより気軽にやれる体制にできるかということ併せて考えて行く必要があるかなと思っております。つまり、する・支えるという部分のところが、一番スポーツの振興を考えていく中で重要なことだと思う。</p> <p>子供の頃から一生懸命スポーツをやっている人は、大体続けている確率が高いと思いますが、途中からスポーツをやってみようというようになるには、何かしらの仕掛けが大事になってくると思う。数値的な計画の見直しも大切だが、どのような取組みをしていけば、する・支えるといったところがより長岡らしく展開していけるか、ご意見をいただきながら今後考えていきたいと思っております。</p> <p>基本的には一生懸命やって、かつ高みを目指すということに関しては、ほとんど競技団体のサポートが必要になってくる。要するに、体を動かしてやるスポーツと言われるものをどれだけ中に取り込んでいって、調べて、大綱の中にしっかりと入れて施策として出していくかというのが一番大事。この審議会についても、その辺のところを根っこにして、方針をだしていくということでもいいのかな。</p> <p>ほかにご意見ありませんでしょうか。</p> <p>(反応なし)</p> <p>はい、ありがとうございました。異議なしと認め、説明のとおり承認する。</p> <p>(議題)</p> <p>(3) 長岡市スポーツ施設整備基本構想の見直しについて、(事務局説明)</p> <p>委員長</p> <p>民間の施設というのは。</p>
--	---

事務局	<p>例えばテニスであれば民間のところを利用したい方々もいると思いますし、先ほどの体操やダンスも民間のところを使っておられる方もいらっしゃると思うので、その辺も視野に入れてニーズ調査したいなと考えている。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、ただいまの長岡市スポーツ施設整備基本構想見直しについて、事務局から説明がありました。質問するのも検討するのも難しいかなと思いますが、何かご意見がございましたらご発言をお願いします。</p>
〇〇委員	<p>40～50年前に、憲法で運動する権利を与えられているので、市町村は必ずそれに対応する施設を作りなさい、と昔聞いたような気がする。</p>
事務局	<p>日本全国を調査したところ、一人当たりの公共施設数が長岡市は第2位ということになっております。今後は、どうしても整備より統廃合の方に比重が高くなってしまっているのではないかと感じている。</p>
〇〇委員	<p>そこら辺の話はあまりしたくないのですが、総合型が一番困っているのが使用料の問題で、我々は使用料を支払って施設を使っているわけですね。具体的には卓球なんですけど、総合型に加入している人たちはお金を払ってやっているのに対し、総合型に加入していない人たちは無料で使っていて、非常にアンバランスである。今年あたりに無料で使える施設が無くなるという話を聞いていたが、その話はどうなったのか。</p>
事務局	<p>前回の審議会でもお示しさせていただきましたが、支所地域の中で比較的規模の大きい施設、具体的には地域の大会ができる4つの体育館については、今後は無料ではなくて、条例で規定されている使用料の2割くらいはいただきたいという話をさせていただいております。支所地域の残りの施設については、無料施設も必要だということで、当面の間は無料で使っていくことを考えております。地域によっては今後、有料施設は有料、無料施設は無料というような恰好で住み分けするところが出てくるのかなと考えております。</p>

<p>〇〇委員</p>	<p>スポーツ協会とかてらスポでは、色々なイベントをやっている。その中では暗黙の了解みたいなものがあった、みんなで公共の大会を手伝おうという地域の価値観があった。それがこの頃崩れてしまって、ボランティアも何もしたくない、だけど、施設はタダで使いたいという価値観がはびこるようになってきた。スポーツの本来の目的は何だ、とか私たちが訴える必要もないのですが、行政の方である程度、公共の施設を使う際の心得あるいは定款があってもおかしくないんじゃないかなと思う。</p> <p>税金で建てられた公共施設を無料で使うんだったら、何か税金を返す方策を考えると、定款に施設利用の心得みたいなものがあってもおかしくないんじゃないかな。何にもしない人たちが蔓延るようでは組織は成り立たない。だからスポーツ協会やてらスポといった組織を存続させるためには、それなりの精神的なモチベーションを持たせるような方策を何かしら考えてもらいたい。無料で利用する人たちが得にならないように。</p>
<p>事務局</p>	<p>使用料の見直しということで、ご報告させてもらったわけですが、一部地域では、〇〇委員がおっしゃったように、無料で使用する代わりにネット張りや草取りをボランティアでやっているところもあります。さらに、人口の少ない地域にいくと、体育館の清掃も利用者がやっているところもあり、保全行為といった部分について協力いただいた上での無料ということが各支所地域でもあったと思う。</p> <p>ただし、やっぱり時代とともにでしょうか、とりあえず無料では使うけれども保全行為については参加しないというような傾向は高まってきている可能性はあると感じている。今まで無料にしてきた施設をいきなり一律に使用料を全額徴収することはちょっと乱暴なところもあると思うので、今は状況を見ながら、適正な料金体制というものを目指して、少しずつ変更していく予定です。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>大した施設でもないのに、使用料を取るのも憚られる気持ちは分かるが、嫌な言い方だけでも、税金で建てた施設を無料で使うということは、やっぱりそれなりの資格というか、使わせてもらっているという心があって然るべきじゃないかなと。</p>

事務局	<p>財政難という側面もあるのですが、突発的な修繕が増えている状況で、もしかしたら、一部料金をいただくことで、長持ちさせることにつながり、その結果、未来の世代の人たちも使えるようになるのではと感じている。</p>
〇〇委員	<p>調査結果の将来スポーツ実施事項というところで、中高生はバドミントンが最も多い。確かに学校教育の中でバドミントンをやるとすごく楽しいし、やりたいっていう気持ちはよくわかる。授業でやる時には、ラケットは全部学校の備品で用意して、生徒が持ってこなくてもいいようにしている。それが高校を卒業して社会人になってから、いざ道具を買って継続してやりたいかという、あんまりそういう人は見たことがない。楽しんでやりたいけど、将来的にという調査で、その最も多い種目が継続していくかという、そこは考えられない。テニスも、やはり道具が準備されていれば楽しくやる傾向にありますが、同じようなことが言えると思います。</p>
委員長	<p>おそらく、学校体育でやるのと社会体育でやるのとでは違ったデータ出てくる。社会人になった時に、バドミントン協会とかバドミントンクラブの普及が進んでいないと、受け皿が無い状態になる。今日結果を見て非常に驚いている。</p> <p>今ご指摘のものを見ると、ちょっとバドミントン協会の動きが悪いのかな。</p>
オブザーバー	<p>バドミントンがジュニア層や高校生に人気というのは聞いている。バドミントン協会も頑張っていて、子供達のクラブが出来ているのは聞いているが、横の連携といいますか、組織だっけの強化になると、目標と現実はちょっと乖離している状況です。</p>
副委員長	<p>体育館に行って、卓球をしたいと言えば道具を貸出してくれますよね。市民体育館に行って、ちょっと時間が空いているからバドミントンをしたいという時には貸出してくれますよね。</p>
オブザーバー	<p>市の施設では道具の無料の貸出しがありますが、学校体育館はそういう道具の貸出しはありません。</p>

副委員長	<p>学校は道具の貸出しが無いんだよね。学校の体育では生徒分を用意してやるわけですよね。生徒分があるのなら、学校体育館でももうちょっと道具の貸出しについて充実させても良いのでは。</p>
委員長	<p>そこはやはり、競技団体がスポーツ協会なりと協力して、普及活動をやっていないと。</p>
〇〇委員	<p>競技団体やクラブに入ってまではやりたくない、という子供が多いのでは。</p>
委員長	<p>おそらくそうでしょう。</p>
〇〇委員	<p>バドミントン協会は、本当に競技の受け皿として整備や普及を頑張ってると思うんですけども、そういったゆるい気持ちでやりたいという層への受け皿はどういう風に捉えてらっしゃるのかなというところが気になる。</p>
委員長	<p>みんなそう言う。楽しいからやりたい。そこから対戦相手と試合をやって勝った、負けたを経験し、そこから一生懸命やる子はやる。だからやりたい人口がいるっていうのはものすごく大事。そこがベースになりますので、そこに協会なり、コーチが手を入れて上手に楽しく上へ押し上げて育てる、これがスポーツの強化ということですから。</p>
〇〇委員	<p>そこが一番難しい。うちは弓道連盟ですけども、毎年初心者教室で10人前後入ってきますが、1人でも残れば良いほうです。そこから国体選手や全日本の選手になる人もいるし、定年になってからやり始める人もいらっしゃいますが、続けるのが難しい。モチベーションが続かない。</p>
オブザーバー	<p>私は、バドミントン協会が底辺拡大のため、普及活動の単発教室や体験会的なイベントをしているのは承知しております。そこが今話題にもなりましたが、クラブへの参加に繋がっていない。上手になりたい、強くなりたいという子は目的に沿ったクラブへ行くんでしょうけど、底辺拡大までは至っていないというのが現状です。</p>

副委員長	<p>コミセン単位でやっているところもありますよね。子供のクラブとか教室があって、大人もやっている。仲間でやっている地区もありますよね。</p> <p>そこで楽しいのを理解して、もっとやってみようかなと思ったらバドミントン協会や卓球協会が手を差し伸べる、というような形になっていけばいいのかなと思っている。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。〇〇委員からいろんな話が出ましたが、長岡地域の住民はちゃんと施設の使用料を払っているけれども、いわゆる合併市町村の方は払っていないという問題がありました。古志の火祭りが人口減少で担い手がいなくなり、今年で終わりになると報道されていましたが、状況の変化に合わせてスクラップアンドビルドじゃないですが、入れ替えをして新しいものにもっていくというのは避けて通れない。</p>
〇〇委員	<p>長岡市にはスポーツ憲章みたいなのがありましたよね。</p>
事務局	<p>条例はあります。</p>
〇〇委員	<p>あの中に一文入れられないかな。</p>
事務局	<p>コミセン使いの意識があるところには、あんまり明確に入れ込むのは難しい。複合的になっている。それぞれに分かれていない。</p>
委員長	<p>これからの施設は、中学校の部活動問題も出てきますよね。やっぱり雪のある地域になると、どうしても冬は室内競技がメインになってくる。そうすると、体育館は非常に大事になってくる。これからどんどん小学校の統廃合が進んでくると、残った体育館の有効活用という問題も出てくると思う。</p>
事務局	<p>補足になりますが、全市的なバランスでどうなのか、という質問を受けたのですが、今後スポーツに対するニーズはどういうものがあるのかというところからこの基本構想の見直しはスタートしたわけです。そのニーズに応じた設備整備や修繕などの計画を一度見直ししたいというのが今回の見直しであります。</p>

	<p>市内には90くらいの施設がありますが、それぞれ種目ごとのニーズなどをしっかりと見極めていかないと、限られた財源の中でどういったところを修繕していくのか、なかなか見えてこない状況がありますので、そういったところをまずしっかりと把握した上で、どういった適正な負担をいただくかを検討して行く必要がある。安心安全な施設を作るということをまず第1に、その上で、どういったところにニーズがあるのか、そこに重点を絞って修繕や整備をして行けるよう、引き続き基本計画の見直しと合わせながら、この基本構想をまとめていきたいと思っておりますので、そういった視点からも皆さんからご意見をいただきたいと思っております。</p>
〇〇委員	<p>3月頃になると寺泊の特殊性といいますか、天気がいいとグラウンドは満員になります。長岡にとって、素晴らしい場所だという風に認識してまして、使っているのは大体、長岡市内の方です。要は、長岡の施設の一つとして、ものすごい大きい位置付けがあるのだから、もっとアピールしてもらわないと。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。施設整備基本構想について先ほど説明がありましたように、別の会議にはかってということなので、我々スポーツ推進審議会としては、出来るだけ施設数を減らさないように、いい方向で検討してください、ということでもまとめさせていただければと思います。よろしいでしょうか。</p>
	<p>(反対意見なし)</p>
事務局	<p>途中通信状況が悪く、大変申し訳ございませんでした。一通り議事が終わりましたけれども、全体をお聞きになられて小学校関連でも構いませんのでスポーツをこういう風にやっていったらいいじゃないか、というご意見ありましたら是非お願いしたい。</p>
〇〇委員	<p>今日はありがとうございました。eスポーツやアーバンスポーツなど、長岡市が未来に向けて新しいことを積極的に取り組んでいこうという提言は長岡市ならではで、大事なことだと思います。小さい町村では、おそらくこういうレベルの話までは</p>

	<p>いかないのではというのが実際のところだと思います。中核都市としての長岡は、非常に前向きであると大変評価しています。</p> <p>小学校のPTAの立場ですので、子供達にスポーツをしてもらいたい、スポーツ人口を増やすという考え方は非常に大事だと思います。小学校の子供達がスポーツに親しむのは、やはり親子でというのが多い。スイミングやサッカーなど、おうちの方の支援がなければ、なかなか出来ないのが今の実態ですので、おうちの方にとっても、親しみやすそうな環境を作っていくことも私たちが考えていかないといけないかなと思って聞かせていただいた。今日は大変勉強になりました。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>それでは（４）その他ですが、事務局ございますか。</p>
〇〇委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>古志の火祭りや三島の西山連峰マラソンが中止になりました。寺泊は半世紀近くシーサイドマラソンをやっていますが、それが今年度やるかやらないかをひと月ふた月くらい議論している。今までいた補助的な人がたった一人辞めただけで、大会の運営が出来ないという議論になっている。それから、ボランティアがこれからは見込めないほか、警察も漁業組合も厳しくなっている。だけど、これらは毎年ある問題なのです。こういう形で半世紀近くやってきて、何千人の方が大会に参加してくださっているにも関わらず、それが唐突にたった1人辞めただけで中止の議論になること自体が信じられない。山古志や三島がやめたことを機に、イベントをやめるムードが支所地域に浸透しているのではと感じる。それを市のレベルで払拭してもらいたい。このままでは、支所地域のスポーツイベントはほとんどなくなるのではと懸念している。もう、支所単位でやる時代ではないのかな。課長にも議論に参加してもらっているが、スポーツイベントは大変だからこそ、ある程度、市の単位で総力戦でやってもらいたいと感じている。</p>
事務局	<p>今、〇〇委員が言われたように、今年スポーツに限らず、支</p>

	<p>所地域の中で終わりを迎えるイベントが増えてきているというのは実感している。基本的に、支所地域の体制見直しの中で、イベントをやめていくという方向性を市が持っているわけではないと考えている。ただ、コロナ禍が続いた状況を踏まえた中で、スポーツであれ、観光的なものであれ、地域全体で行ってきたものが一定程度の意義が見いだされた上で、コロナ禍で新たな展開ややり方を行っていく地域も、やめるという選択肢を選んだ地域もあると考えている。</p> <p>ただ、シーサイドマラソンのように伝統的に取り組んできたものもあると思っているので、地域の中でまだまだ続けていく方法も模索していく必要があるのであれば、長岡市全体として考えていかないといけない。実際にスポーツイベントに対する市民の感覚や感じ方も少しずつ変化していると思うので、バランス良く見ながらサポートはしっかりとしていくべきかなと思っている。</p>
〇〇委員	<p>忌憚なく言わせてもらおうと、市はちょっと寄り添うという程度で、基本的にはそういったイベントにはあまり関係しないように努力しているのでは。私は、シーサイドマラソンに実行委員長として20年くらい携わっていますが、昔は口を出すなという雰囲気だったが、今は真逆で大変。市の方針が変わったのならはっきり言ってもらえれば、市に対する要求もお金や人材の面で考えることができる。はっきり言うと、市は、イベントは地域でやってくれた方がいい、そうするとこちらも簡単にやめられるからと考えているようで、ちょっと疑心暗鬼になっている。</p>
事務局	<p>それは市として、統一的な基準を持っていないというのが正直な答えになると思う。地域の中でも、進めてきたやり方というのは多種多様なんだろうと思う。1人のキーマンの方が、それこそお金ではない、ボランティアの部分も含めて率先して地域を引っ張ってきた地域もあれば、逆に、これから先の時代はそういった方々が確保できなくなってくれば、外部委託や人為的な力を借りながら運営していく地域もあると思いますが、そこには新たなやり方を入れていかなければ駄目だと思う。</p> <p>特に私どもが所管しているスポーツイベントの部分に関しては、こういったニーズがあって、地域の中に残していくべき</p>

〇〇委員	<p>ものかを考えて行く必要がある。例えば西山連峰マラソンのように、一定の役割を果たしたと地域で判断して、また新たな展開を考えて行くということも一つの選択肢だと思うので、一律の基準ではなくて地域ごとのやり方を見ながら、私どもスポーツ振興課としても少しでも出来ることを考えていきたいと思えます。</p>
〇〇委員	<p>一定の役割を果たしたとか、そういう言葉が今ものすごく不信感を感じている。本当に一定の役割を果たしたんだろうか、果たされたんだろうか、辞めさせられたんだろうかとかね。半世紀近くやってきた中で、急にこんな議論が出てくること自体がものすごく失礼。いろいろな問題があるが、なぜそれが急にやめましょうという議論になるのか。山古志や三島でどういう議論があったかわからないが、本当に一定の役割を終えたのかどうか疑問に感じている。検証してもらいたい。</p>
委員長	<p>まあしょうがないでしょう。半世紀近くもやっているのであれば、途中で状況も変わる。市町村合併もあったし。市はおそらくどこの大会にしても積極的に関与しないで、あくまで後援とか相談とか、出来る部分に関してはやるよというスタンスなので。結局、女子駅伝は県の主催になって、長岡陸協が主管でやっている。基本的に、長岡陸協との絡みとか、もう少し枠組みの面でも寺泊だけじゃなく広げるようにしないと、続けていくのは難しいのでは。</p>
〇〇委員	<p>それは私も模索している。当たり前の話で、寺泊だけじゃ難しいから、長岡陸協とかあらゆるところのお世話になろうと思っているが、長岡陸協が大変なんです。</p>
事務局	<p>たまたま、あの大会の日がシーサイドと重なっている問題もあるので、日程調整とかも含めてどうしていくか、検討の余地があると思っております。</p>
委員長	<p>やはり人がやめてしまって、ぎりぎりの状態だったのでは。</p>
〇〇委員	<p>毎年二千人のランナーが参加している。それを市の事情によってやめましたというのは、やはり社会的に許されるのか。</p>

委員長	<p>結局やる人がいないならやめるしかない。それは仕方がない。しかし、一度やめると再度立ち上げるのは難しい。それは覚悟しないと。進むも面倒、退くも面倒という状況になるが、どうするか。</p>
〇〇委員	<p>そういう方向性を出してもらえればいいのだが。</p>
委員長	<p>皆さんには十分聞いていただいたので、今度は寺泊さんとスポーツ振興課との話で、しっかりと意思疎通を図ってもらえれば。</p>
〇〇委員	<p>寺泊ばかりの問題ではないと思う。</p>
委員長	<p>それはみんなそう。山古志でやめたのも結局は人。要は、過疎化が進んで、人口がどんどん減っているということ。それが本当の理由のような気がする。地域だけでやるのは、非常に難しいので、長岡市全体の中で考えて枠組みを作っていくかという話になると、これがまた難しい問題。</p>
事務局	<p>難しいところもある。スポーツ振興課単独としてだけでも難しい。地域振興を含めたやり方の中で、地域の未来を考えながら引き続き検討して行きたい。</p>
〇〇委員	<p>なんでも少子化、人口が減った、それが理由で終わりみたいなこの雰囲気は絶対に良くない。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。その続きはまた。他に何かございませんでしょうか。 (返答なし)</p> <p>以上で、審議を終わります。</p>
9 会議資料	別添のとおり